

言葉と人権 ①

言葉の果たす役割

言葉と人権について考えるに当たり、一般的に**言葉が果たす役割**について、改めて確認しておきたいと思います。

◆ 私たちは、言葉によって先人が蓄積してきた**知識や知恵**を得ています。また、言葉を用いずに物事を考えることはできません。言葉は私たちの**思考**を支え、**知的活動**を可能にしています。

◆ 一方、私たちは詩歌や小説などの文学作品を読むことで、美しい日本語の表現やリズム、深い情感などに触れ、**美的な感性や豊かな情緒**を養うことができます。また、感性や情緒は、感じたことを言葉にしたり、他者と交流したりすることを通して、より一層育まれていきます。こうして養われる感性や情緒は、**良好な人間関係**を築く上で極めて重要な働きをします。

◆ 私たちのコミュニケーションの基本は、相手の人格や考え方を尊重する態度と言葉による伝え合いにあります。**言葉の運用能力**は、その根底を成します。話し言葉や文字などによって意思や感情を**伝え合う**ことは、言葉の最も基本的な役割です。

このように、言葉は「知的活動」、「感性・情緒」、「コミュニケーション能力」の基盤を形成しているため、「**言葉の力**」を高め、生かすことは、人権教育のより一層の充実につながります。

